

参考文献

草庵先生の漢詩を読むのに参考にしたり引用した文献

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 『池田草庵全集』第一編 | 青谿書院保存会編 |
| 『肄業餘稿』池田草庵緝著 | 岡田武彦・藪敏也訳注（草庵百年祭奉賛会） |
| 『池田草庵先生―生涯とその精神―』 | 木南卓一著（草庵百年祭実行委員会） |
| 『草庵先生』 | 八鹿町教育研修所編 |
| 『草庵先生と青谿書院』 | 養父市教育委員会 |
| 『池田草庵』（叢書 日本思想家四四） | 疋田啓佑著（明徳出版社） |
| 『池田草庵』シリーズ陽明学20 | 望月高明（明徳出版社） |

あとがき

平成十六年度から「池田草庵先生に学ぶ会」が、公民館講座として開講しました。その中では、八鹿町教育委員会の『草庵先生』、木南卓一先生や疋田啓佑先生の著作などを読んだり、草庵先生の書かれた文章を少しずつ読んだりしていきました。講師の先生に教えてもらうというのではなく、みんなで話し合いながら進めていきました。

草庵先生の残された文章はたくさんありますが、ほとんど漢文で書かれています。私たちが読むには難しいです。それでも漢詩なら、文が短いから辞典を引きながら中味がわかるかもしれない、と先生の漢詩を読んでいくことにしたのでした。しかし、これは安易な考え方でした。漢詩は文が短い分、一字に深い意味も込められています。また、様々な約束事があります。そういうことはほとんどわからない私たちでした。それでもとにかく、草庵先生の漢詩の文字を読み、考えていきました。参考文献に挙げた諸先生の著作からも、多くのことを学ばせていただきました。

先生の漢詩は、『池田草庵先生著作集全』の中に、「草菴詩集」として、90首余りが収められています。私たちはその中から約半数を選んで二年間余りにわたって読んでいきました。

私たちが読んで考えたことは、とても拙いことです。今もって、解釈できないようなところもあります。しかし、それでも、草庵先生の願いや心境などが端的に分かるところもたくさんありました。それでこの度、このような一冊の冊子としてまとめ直し、私たちの学びの一步の記録として残すことにしました。

池田草庵先生に学ぶ会（平成十六・十七年度）

代表 米田啓祐

池田喜代子 小田垣重利 片山寿三

中村洋子 西村正司